

リハビリテーションだより
心が動けば、体が動く。



わたしが笹原です!

私たち訪問リハビリスタッフは、ご本人・ご家族・医師・ケアマネージャー等としっかりと連携をし、在宅生活を送る上での目標を支援していきます。生きがいを援助し意欲と活動性の向上を図ります。「心が動けば、体が動く!」をモットーに、元気なスタッフがおうちへ伺います。ご本人の「～に行きたい」「～したい」の意思を尊重し、どうすればその願いがかなうか、一緒に考えます。

老人会に行きたい

Aさんは病気になり、老人会への参加を諦めていました。訪問リハビリにて、まずは筋力訓練や歩行訓練等でベースアップを図り、徐々に体力がついてきました。その後、実際に老人会の開催される公民館へ私たちスタッフと外出をし、その場所での歩行訓練や階段昇降などを練習しました。

また、Aさんは言葉の出にくさもあり、言語聴覚士の訪問リハビリを行い、会話・書字訓練やカラオケの練習を通して、言語機能の改善がみられています。さらには家族や地域の方等の介助者へ介助方法のアドバイスも行い、最終的には老人会へ2年ぶりに参加をすることができました。生き生きとした生活を取り戻すには趣味や役割の獲得が必要です。



自宅のお風呂に入りたい

生活の基盤となる身辺動作の練習も行っていきます。実際に自宅のお風呂やトイレで楽に動作ができるように練習や介助方法のアドバイスをしていきます。安心して身辺動作が行えることで生活の質の向上を図ることができます。



歩いて元気な姿を家族に見せたい

病院でリハビリを行い、退院したBさん。退院時は車椅子を使用していましたが、継続した歩行練習が必要とすることで訪問リハビリを開始しました。自宅内での歩行練習を行い、家族さんにも介助方法の指導も行っています。今後は歩いて元気な姿をみんなに見せたいとリハビリに取り組まれています。

このように病院から退院したあとも継続したリハビリをすることで、身体機能の向上を図ることができます。



家族と一緒に過ごしたい

ご本人の状態に合わせた福祉用具の選定、ご家族への介助方法のアドバイス、身体的・精神的な不安への援助を行います。介護負担を軽減することは在宅で介護しながら、生活を長く続けていく上で大切なことです。

Cさんは自分で体を動かすことが困難な状態です。しかし、リフトやリクライニング車椅子など福祉用具をレンタルすることで奥様の介助のもと、車椅子に座ってご家族と一緒に過ごすことができています。そのほかにも、「どのような押し車で歩いたら安全かな」や「どこに手すりがあったらいいのかな」等さまざまな相談に対してもアドバイスを行っています。



私たちは、訪問リハビリを始める際、ご本人やご家族としっかりと面談をします。そこでご本人の「できること」や「したいこと」をうかがい、訪問リハビリの目標を設定していきます。その目標に向けて、ご本人に合った運動や活動をリハビリとして行います。目標や目的を持った活動はご本人の意欲も向上し、自然と体が動いてくると思います。

ご自宅での生活に不安や戸惑いはありませんか? 済生会みすみ病院では、ご自宅で安全かつ生きがいや楽しみを持って活き活きとした生活ができるように訪問リハビリテーションサービスを提供しております。ご相談等ありましたら、訪問リハビリスタッフまでお問い合わせください。

対象者

- ① 本人または家族より在宅における日常生活・社会生活上の具体的な不安がある方
- ② 家族または地域スタッフ(介護支援専門員・ヘルパー等)より介護方法の指導や福祉用具の使用方法などの指導依頼があった方
- ③ 退院時、院内の日常生活活動に障害がある方
- ④ 在宅での閉じこもり、寝たきりが予測される(心身機能の低下・日常生活の低下が予測される)方
- ⑤ 家屋改修を施行した(またその必要がある)方
- ⑥ その他医師やスタッフが訪問リハビリの必要性があると判断された方

リハビリ介入の時間

月曜日～土曜日 (午前もしくは午後)
時間/9:00～17:00

頻度
週2回程度
(必要に応じて)

1回のリハビリ
提供時間
40分程度

利用料金

介護保険にて利用者の自己負担は1割と定められています。

1回の利用料金の目安
600～800円程度

※介護等級や開始時期によって若干の差があります

